



eラーニング講座

メジャーなテクニクを一気に攻略！

テクニカル分析 中級コース



■はじめに（相場は「ドラゴンクエスト」の大冒険）

大人気ゲーム「ドラゴンクエスト」をご存知の方は多いと思います。テクニカル分析をざっくりばらんに説明すると、相場の世界の大冒険で主人公に必要な剣と盾です。主人公のあなたは相場の世界の大冒険に登場する勇者です。

上げ相場は、持っている剣をただ振り回せばよいだけ、買えば簡単に儲かるファンタジーワールドでした。でも、その次の下げ相場は、強力なモンスターの徘徊するデンジャラスワールドだったのです。ある時、主人公の勇者はひどい下落に襲われて大けがをさせていただきます。この場所は、最悪の場合、主人公に死をもたらすことさえある、暴力の支配する世界だと痛感します。以後、ゲームオーバーを避けるため、「大ダメージ」を避けなくてはなりません。そこで、盾による防御が必須となります。リスク管理はテクニカル分析の盾の側面であり非常に重要です。

テクニカル分析は価格分析です。テクニカル分析で売買をする場合は、相場の価格「だけ」を注視するのが原則です。ニュース、企業業績、経済指標などは気にしません。ただ、そういうことならば、テクニカル分析の予測には当たり外れがあって当然です。テクニカル分析は、理論的に正しいのに失敗することもあるのです。書店に行くと、射幸心をあおるようなタイトルの投資本を見かけますが、典型例は「テクニカル分析は相場の必勝法」です。しかし、いま述べたとおりです。テクニカル分析は必勝法ではありません。

大事なので繰り返します。テクニカル分析は必勝法ではありません。しかし、テクニカル分析は儲けるための金融技術であり、なるべく損をしないための金融技術です。主人公の勇者は、相場で常に利益を追い求め、攻撃を繰り返す必要があります。攻めの姿勢を持つことは勇者の条件です。ただ、勇敢さだけが取り柄の勇者では生き残れません。私たちはテクニカル分析を学び、テクニカル分析という剣と盾を装備して相場の冒険に出かけましょう。

加藤 光敏

目 次

第1章 テクニカル分析序説	7
(1) テクニカル分析の意義	7
(2) テクニカル分析の原則	7
(3) テクニカル分析とファンダメンタルズ分析の併用	9
(4) テクニカル分析の特質	10
(5) テクニカル分析の限界	10
第2章 チャートリーディングの基本	12
(1) ロウソク足チャートの読み方	12
(2) 1本のロウソク足の売買サイン	12
(3) ロウソク足を組み合わせた売買サイン	17
(4) ラインチャートの読み方	20
(5) バーチャートの読み方	21
第3章 トレンド相場の分析	22
(1) トレンドの意義	22
(2) コレクション	23
(3) トレンド転換	24
(4) トレンドラインのサポート	25
(5) トレンドラインのブレイクアウト	26
(6) チャンネルライン	28
第4章 レンジ相場の分析	29
(1) レンジ相場の意義	29
(2) 保ち合い放れに乗れ	30
(3) レベルラインのサポート	31
(4) レベルラインのブレイクアウト	32
第5章 パターン分析	33
(1) パターン分析の意義と限界	33
(2) 天井パターンの解釈	33
(3) 底入れパターンの解釈	38
(4) ネックライン	41
(5) トライアングルの解釈	42
(6) 時間的構成要件	44
(7) 短期パターンとレクタングル	45
第6章 移動平均分析	46
(1) 移動平均の意義	46

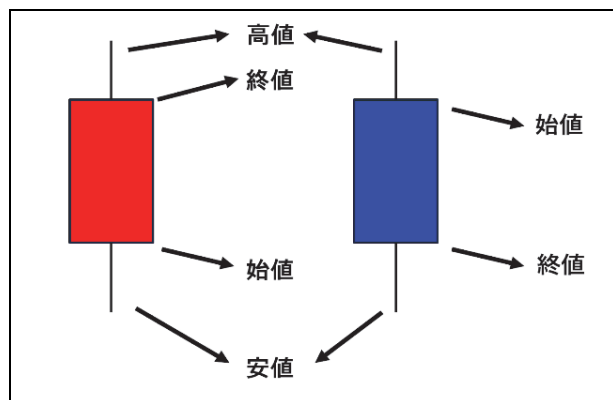
(2) 移動平均の追随性.....	47
(3) グランビルの法則.....	47
(4) 移動平均の拡散と収束.....	49
(5) 移動平均のクロス.....	50
(6) 移動平均の最適化.....	53
(7) 単純移動平均の遅行性の克服方法.....	54
(8) 指数平滑移動平均（EMA）と加重移動平均（WMA）.....	54
第7章 バンド分析.....	56
(1) バンド分析の意義と問題点.....	56
(2) ボリンジャーバンド.....	56
(3) エンベロープ.....	59
(4) ドンチャンチャネル.....	60
第8章 オシレーター分析.....	61
(1) オシレーターの意義.....	61
(2) オシレーターの特徴.....	61
(3) オシレーターのダイバージェンス.....	62
(4) 各論1：ROC.....	63
(5) 各論2：サイコロジカルライン.....	66
(6) 各論3：RSI.....	67
(7) 各論4：MACD.....	68
(8) 各論5：ストキャスティクス.....	69
(9) 各論6：移動平均乖離率.....	71
第9章 出来高と建玉の分析.....	72
(1) 出来高分析の意義と問題点.....	72
(2) 出来高とトレンドの関係.....	72
(3) 出来高の急増と株価の関係.....	75
(4) 閑散相場.....	76
(5) バブル相場.....	76
(6) 建玉分析の意義.....	78
(7) 賃貸倍率.....	78
(8) 信用評価損益率.....	78
第10章 波動分析.....	79
(1) ダウ理論の基本原則.....	79
(2) エリオット波動論の意義.....	82
(3) エリオット波動の基本構成.....	82
(4) 上昇エリオット波動の第3波の解釈.....	83

(5) 上昇エリオット波動の第5波の解釈.....	85
(6) 上昇エリオット波動の第2波と第4波の解釈.....	87
(7) リトレースメント理論とフィボナッチの活用.....	89
(8) ギャン理論とファン理論.....	91
(9) ギャップの解釈.....	92
第11章 サイクル分析.....	95
(1) サイクルの意義.....	95
(2) ハーストの8原則.....	96
(3) サイクルウィンドウ理論.....	97
(4) サイクルトランスレーション理論.....	98
第12章 一目均衡表による分析.....	100
(1) 一目均衡表の意義.....	100
(2) 転換線と基準線の解釈.....	101
(3) 先行スパンとクモの解釈.....	102
(4) 遅行スパンの解釈.....	103
(5) 三役好転.....	104
第13章 テクニカル分析の実戦的課題の考察.....	105
(1) チャートの時間軸の選別.....	105
(2) 対数チャートの活用.....	105
(3) 順張りの実戦的課題.....	107
(4) 逆張りの実戦的課題.....	107
(5) トレードとテクニカル分析.....	108
(6) 長期投資とテクニカル分析.....	108
索引.....	112

第2章 チャートリーディングの基本

(1) ロウソク足チャートの読み方

●陽線と陰線



ロウソク足は実体とヒゲで構成されており、一定期間の 4 本値（はじめ 始値、高値、安値、終値）を示します。実体は、始値と終値を結んだ四角形の部分です。その時間枠の相場の開始と終了の値段を示します。上昇の値動きなら実体の下方が始値、上方が終値となり、下落の値動きなら実体の上方が始値、下方が終値となります。前者を陽線、後者を陰線といい、両者は色分けて区別されますが、陽線は赤（白抜き）、陰線は青（黒塗り）が多いようです。ヒゲは、実体の上下に出ている線です。上ヒゲが高値、下ヒゲが安値まで伸びています。その時間枠の相場の天底の値段を示します。

なお、日本の主流はロウソク足チャートですが、欧米の主流はラインチャート、バーチャートといわれます。ただ最近では、ロウソク足チャートも海外投資家に人気のようです。

(2) 1本のロウソク足の売買サイン

ここでは、1本のロウソク足の売買サインを見ていきます。

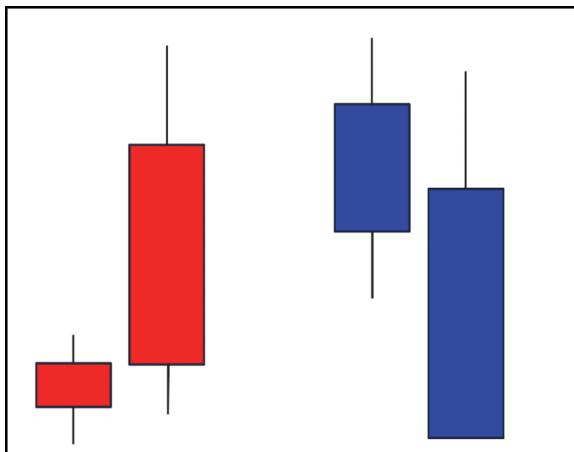
原則として、陽線は買いサイン、陰線は売りサインです。このとき、実体の長大な陽線（大陽線）なら強い買いサイン、長大な陰線（大陰線）なら強い売りサインとなります。陽線なら、相場が大きく上がったのだから目先買う方がよいですし、陰線なら、相場が大きく下がったのだから目先は売るのがよいといえます。これは当たり前のことですが、もう少し具体的に考察すると、相場が大きく動いたら、様々なテクニカル分析指標に、その方向への順張りの買いサイン（売りサイン）が出ると推定されるというのが実質的根拠です。もちろん、大陽線（大陰線）ならなおさらです。

ここで問題となるのは、陽線や陰線が長大かどうかの判断基準です。一体どれくらいの長さ（値幅）

なら十分といえるのでしょうか。これについては、「実体が大きい」というと漠然としているようだが、価格（相場）の 1.5% 程度であれば大陽線と見てよいだろう。ちなみに為替相場の世界でドル・円相場を例にとると、実体が 1 円 50 銭以上あるものは大陽線といえる」（「日本テクニカル分析大全」日本テクニカルアナリスト協会編・日本経済新聞出版社・佐々木英信・P332）という有力な見解があります。ここでは、佐々木氏のこの見解を絶対的基準説と呼ぶことにします。この見解は単純明快かつ実用的です。銘柄やチャートごとに過去の傾向から決まった基準を作り、あてはめるのです。

これに対し、筆者の立場は相対的基準説です。直近相場の価格変動に着目し、その部分との関係で明白に大陽線または大陰線であれば十分と考えます。なぜなら、売り買いの実質的根拠とされるテクニカル分析指標の売買サインは、直近相場の価格変動との関係で相対的に出るものだからです。

●相対的基準説の大陽線大陰線



8801三井不動産日足2021年
移動平均 10、25、75

【Chart Gallery】©Pan Rolling

第6章 移動平均分析

(1) 移動平均の意義

移動平均分析は、価格推移を平均値で捉える客観的科学的な分析方法です。その歴史はかなり古いですが、今もなお、テクニカル分析の王道です。移動平均の長所は、シンプルイズベスト。従って、移動平均には、高度複雑な分析のアプローチはなじみません。投資家やトレーダーは、移動平均をシンプルに見るのが正しいでしょう。

(計算式)

n 本の単純移動平均 = 過去 n 本の終値の平均値

移動平均は、トレンドラインと同じく、トレンドの方向性を示します。相場の実戦では複数本表示することが多いですが、単独では、1本の移動平均が上向きなら上昇トレンド、下向きなら下落トレンドです。

トレンドが強いときは、移動平均の傾斜もきつくなります。一時的にトレンドが強まったときは、移動平均は相場を追いかけて急角度になります。逆に、トレンドが弱いときは、移動平均の傾斜は緩やかです。横這い相場では、移動平均も横這いとなり、方向性を失います。



トレンドラインがサポートとして機能するように、移動平均も株価の重要なサポートとなります。上向きの移動平均は押し目買いの、下向きの移動平均は戻り売りのチャートポイントです。ただし、横這いの移動平均はサポートにならないと考えられています。